

## 実質化された人・農地プラン

市町村	対象地域名	作成年月日	直近の更新月日
玉名市	⑥ 岱明 地域	令和3年2月24日	令和3年9月2日

### 1 対象地域の現状

①地域内の耕作面積	1,300.0 ha	
②アンケート調査等に回答した地域内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	700.2 ha	
③地域内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	257.8 ha	
i	うち後継者のいない農業者の耕作面積の合計	87.2 ha
ii	うち後継者について未定の農業者の耕作面積の合計	59.9 ha
④地域内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	93.2 ha	
(備考) アンケート実施年度：令和元年度		

### 2 対象地域の課題

<p>各地区とも共通して、耕作者の高齢化によって労働力が減少しつつある。併せて後継者がいない耕作者も多く、今後の圃場管理に不安がある。また、農道が狭いため大型機械が導入できないなど、農道及び用排水路の管理にも課題がある。さらに、河川の整備が進んでおらず、大雨及び台風等の際には冠水してしまう。これらの整備に加えて、農地基盤整備の促進が重要課題である。</p> <p>各地区において個人の認定農業者が活躍しているが、今後の農業者人口は減少する一方であり、農地を守るために組織活動が重要となる。互いの情報交換が必要不可欠であるため、地域コミュニティの向上も課題となる。</p>
--

### 3 対象地域内における中心経営体への農地集積及び耕作地集約化に関する方針

<p>中心経営体である認定農業者及び認定新規就農者への集約及び農地受入れを推進する。</p> <p>大野地区においては、農事組合法人が中心となって、認定農業者との連携を図りながら集積・集約を推進する。</p>
--

中心経営体の現状・今後の農地の引き受け意向 (ha)

引き受け意向のある中心経営体数	中心経営体の現状耕作面積
9 経営体	56.9